

評定の内容

§ 1 件名

三谷セキサン杭頭接合構法（Lev-Pile 構法）による杭頭埋込部の応力照査方法の適切さ

§ 2 評定の対象

三谷セキサン株式会社が施工する杭^{*}の頭部に設ける杭頭埋込部における構造計算方法

※杭体については、JIS A 5372 プレキャスト鉄筋コンクリート製品、並びに JIS A 5373 プレキャストプレストレストコンクリート製品に係る JIS 認証、もしくは構造性能に関する評定を取得している既製コンクリート杭（いわゆる PHC 杭、PRC 杭、SC 杭、SPHC 杭）とし、施工法については、三谷セキサン株式会社が支持力や施工管理方法等に関する認定、もしくは評定を取得しているもの、または平成 13 年国土交通省告示第 1113 号に定められた杭工法とする。

§ 3 評定の範囲

本評定の範囲は、以下の(1)及び(2)とする。

(1) 杭頭埋込部における短期許容曲げモーメント及び短期許容せん断力算定方法が適切であること

(2) 杭頭埋込部における終局曲げモーメント及び終局せん断力算定方法が適切であること

§ 4 評定内容

1. 技術の概要

本評定の対象とする技術は、パイルキャップの下部に杭頭埋込部（基礎梁下部の杭頭が埋め込まれる部分で、杭に作用する外力をパイルキャップに伝達させる RC 補強部）を設け、当該埋込部の側面や頭部の支圧抵抗、及び当該埋込部内に設置する定着筋による引張抵抗により杭頭部に作用する外力をパイルキャップ部に伝達させる構法であり、当該埋込部を設けることで杭頭部付近の鉄筋を、従来よりも減らすことができるため収まりの良い配置とすることができる等の特徴を有する。

本構法の適用例を図 4.1 に示す。

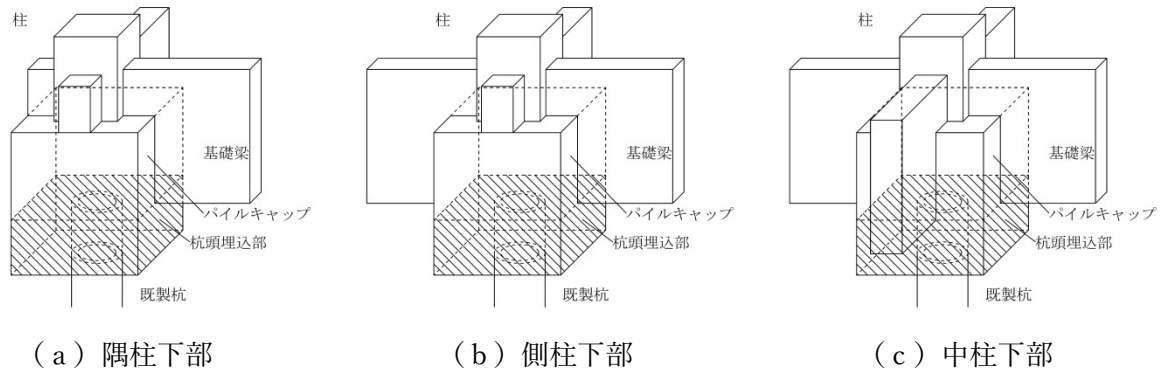


図 4.1 本構法の適用例